

2. 研究業務の内容

企 画 開 発 推 進 室

1. 「生産者と向き合う総合水試」情報収集発信事業

岡部耕治・桐山隆哉

総合水産試験場（以下、水試）では、水産研究に有用な水温、漁獲、魚病等の情報収集とともに、「開かれた水産試験場」をモットーに、蓄積された情報や試験研究成果等の発信に努めた。また、専門的な研究情報の提供と漁業現場等のニーズの把握を目的に、県内各地で研修会（出前水試）を開催した。

・試験研究情報の収集

1. 魚病情報データベース

県内各地の魚病発生情報を収集し、新たに143件を登録した。累計登録件数は6,242件。

2. 海況データベース

県内各海域の海況情報を収集し、新たに14,488件を登録した。累計登録件数は493,408件。

・試験研究情報の発信

1. インターネットによる情報発信

長崎県庁ホームページへ次の情報を提供した。

- ・水試の施設の紹介
- ・漁海況情報
- ・水温情報
- ・最新の試験研究話題
- ・トピックス等

2. FAX情報サービス

漁協等関係機関へ次の情報を発信した。

- ・漁海況情報
- ・赤潮情報
- ・情報発信件数：計3,486件

3. 情報誌の発行

「令和5年度の主な成果」を発行（令和6年3月）し、漁協等関係機関へ配付した。

・現地での研修会（出前水試）の開催

令和5年度は、現場のニーズをより専門的に詳細を把握するため、地区や部会等の要望に応じて県内

6地区で9回開催した（表1）。

各会場とも水試の試験研究に対する多くの意見、要望等が寄せられ、非常に有意義な催しとなった。

表1 令和5年度の出前水試実施状況

開催日	開催場所	出席者
R.5. 6. 9	五島市福江町	13名
R.5. 9. 9	平戸市早福町	20名
R.5. 9. 28	松浦市今福町	25名
R.5.10.19	対馬市宮谷町	15名
R.5.11.15	長崎市戸石町	19名
R.5.11.16	雲仙市南串山町	14名
R.6. 1. 24	長崎市五島町	11名
R.6. 3. 8	長崎市五島町	17名
R.6. 3.15	新上五島町若松郷	12名
合計		146名

・その他

1. ながさき水産科学フェアの開催

新長崎漁港地区の国際海洋総合研究ゾーンにおいて、10月15日に同地区に隣接する国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所（長崎庁舎）、国立大学法人 長崎大学海洋未来イノベーション機構環東シナ海環境資源研究センターとの共催で「第18回ながさき水産科学フェア」を開催した。

三研究機関の地域貢献を目的に、施設の一般公開や各種体験型イベント、サイエンスカフェを催した。新型コロナウイルスの発生により、4年ぶりの開催となったが、参加者は前回は上回る1,082人となり、参加者に対する三研究機関の試験研究活動や水産業・海洋への興味と理解を深めることに貢献した。

2. 広報活動

試験研究で得られた成果を、漁業者をはじめ県民に広く伝達し、その普及を図ることを目的に、記者室への投げ込みや取材対応等の16件の広報活動を行った。

（担当：岡部）